

令和2年度 事業報告

1. 事業の概要

令和2年度は新型コロナウイルス肺炎が猛威を振るい、4月7日に東京を含め7都府県に「非常事態宣言」が出され、16日には全国へと拡大、7月には「熊本豪雨」が発生し、九州や中国そして東北地方へと甚大な被害が起きるなど、日本経済に大きな衝撃を与え、災害リスクが今年も浮き彫りになった一年でありました。

当シルバー人材センターを取り巻く状況は、イトーヨーカドーとの契約解除の影響は大きく、またコロナ禍での学校開放事業の長期休業や夏祭り等の各種イベントの中止により事業量は大幅に落ち込みましたが、前年の記録的な少雪から一転、多雪となり会員の頑張りでも前年より僅かな落ち込みで済むことができました。

活動状況を見ますと、コロナの感染拡大防止の自粛要請から「シニア応援セミナー」並びに入会促進イベント、地区ごとの講習会やボランティア活動は中止せざるを得ませんでした。また会員の動向を見ますと、コロナ禍での就業の減少に加え、就業先への敬遠など退会希望者が増加、会員数は依然として大幅な減少が続いております。

しかしながら少子高齢化が進む中、シルバー人材センターに対する期待は大きく、それに応えるためには会員の拡大が不可欠であり、今後とも会員・役員・事務局が一丸となって会員の拡大と退会会員の防止に取り組まなければなりません。安全管理面では人身にかかわる大きな事故もなく、昨年6月には全シ協から「安全就業優良賞」を受賞しました。今後も「安全はすべてに優先する」を合言葉にさらなる安全就業に努めます。

以下その現状についてご報告します。

2. 事業の実施内容

(1) 事業の普及啓発

- ① 今年度も旭川市折込み広告協同組合のご厚意により、「シルバー情報紙」76,470部を北海道新聞の朝刊に折込み各戸に配布、新会員の入会促進と就業拡大に努めました。
- ② 会報「シルバー旭川」の54・55号を8月1月に発行、合計1,900部を全会員と関係機関に配布、また会員情報を4・6・8・12月の4回作成し会員に配布、情報発信を図りました。また例年配布しているカレンダーは1,500部を製作し、会員や関係企業、地区・住民センター、公民館、賛助会員に情報誌と同時に配布し、PRなどに努めました。
- ③ シルバーの日の10月を中心に啓発宣伝月間と位置付け、地区運営委員会を中心として、各地区で「地区センターの除草や剪定、ゴミ拾い」などのボランティア活動を計画しましたが中止としました。

また例年、秋の全国交通安全運動に合わせて実施されるセンター主催「交通安全旗波運動」につきましても中止としました。

- ④ パンフレット・リーフレットやカレンダー・ポスター等を企業や公的施設に常設配置や配布し、シルバー事業に対する理解と協力を得るよう努めました。
- ⑤ こうほう旭川市民「あさひばし」に会員募集の記事を掲載するなど、情報発信に努めました。
- ⑥ その他、会員拡大並びに就業拡大に向けての新たな企画の説明会等については感染拡大防止のため中止といたしました。今後事務局において改めて新たな企画を検討します。

(2) 会員組織の確立

- ① ロコミ勧誘活動を通し新会員紹介の依頼文を会員に送付し、さらには当シルバー人材センターのホームページ、旭川市民「あさひばし」などに掲載するなど、新会員の入会の促進を図りました。
- ② 女性の会「かたくりの会」推進委員会が中心となり、コロナ禍のマスク不足の中、「かたくりの会」の会員にマスクの提供を呼びかけ、手作りや不用品を集め、当センターの派遣企業である福祉施設「末広鳳侑社」へマスクとタオル合わせて260枚を寄付し喜ばれました。
- ③ 地区班会議や地区ごとの研修会・講習会、ボランティア活動を通して会員相互の連帯と事務局との意思疎通等を計画しましたが、十分な活動ができませんでした。

(3) 就業機会の拡充

- ① 「自ら開拓、自ら就業」を合言葉に就業拡大に努めましたが、地方財政事情から公共の請負減少や民間請負最大手であるイトーヨーカドーからの撤退などで減少となりました。
- ② 民間企業に対してシルバー人材センター事業をPRし、就業機会の拡大を図るため、パンフレット等を送付、依頼しました。
- ③ 毎月第3木曜日を就業相談日と定め、会員個々の情報等を把握、希望職種を聞き取り、職種転換により、ミスマッチの解消や能力開発を行いました。

(4) 安全就業の推進

- ① 「安全はすべてに優先する」「健康第一」を合言葉に会員一同が安全就業に努めた。
- ② 安全委員会の「事故措置審議会」を開催し「事故を起こした場合のペナルティ」について、一定の措置基準を定め、各種事故の分析や点検を行い、事故の危険予知と撲滅に努力しました。
- ③ 未就業会員の希望職種調査を行い、意向や能力に沿った就業の機会を提供し、未就業会員の解消に向け努力しました。
- ④ 安全パトロールを行い、就業中の会員相互の安全声掛けを励行し、また熱中症など健康に関する情報を提供すると共に、蜂刺され対策など具体的な安全就業に努めた。

(5) 財政の基盤強化

- ① 事務局組織の見直し等により活性化を図るとともに、情報の共有や交換、職員相互の連携強化に努め、公益性と収益性のバランスのとれた運営に努力しました。
- ② 運営事務費の改定を行い、事業運営への努力と事務的経費の節減に努力しました。
- ③ 「インボイス制度」に向けて、会員情報等に掲載するなど、段階的な会員への周知に努めました。
- ④ 受注の管理を徹底し、早期回収及び未収金防止のため、相手方に連絡を取り続けるなど一定の成果を上げました。
- ⑤ 関連する行政機関と情報交換をするとともに、補助金の確保等についての要請活動を行いました。

3. 経過の概要

経過報告

月 日	内 容
4月 1日	事務局辞令交付式、平和通巡回管理作業打合せ
2日	買物公園自転車整理業務打合せ
9日	平和通維持管理業務打合せ
10日	児童遊園等維持管理業務打合せ
14日	平和通維持管理業務(緑橋班)打合せ
15日	第1回 新会員研修会
16日	末広地区班長副班長会議
17日	旧神居古潭駅舎等施設清掃業務打合せ
22日	ドリームランド巡回点検業務打合せ
23日	草刈り安全講習・見積基準説明会
30日	年度末監査
5月 7日	第1回 理事会
11日	市営墓地便所清掃業務打合せ
20日	第2回 新会員研修会
6月 2日	道シ連 理事会
3日	旭川市経済部年度末監査
10日	市営墓地草刈業務打合せ
11日	市営墓地草刈業務打合せ
12日	市営墓地草刈業務打合せ
15日	市営墓地草刈業務打合せ
17日	第3回 新会員研修会
18日	道シ連 定時総会
19日	総会に向けての事務局会議
23日	令和2年度 定時総会
24日	総会終了報告及びメッセージのお礼挨拶
26日	草刈 調整池現場確認
7月 3日	総会後の事務局会議
6日	第2回 理事会
7日	草刈り業務安全就業実技講習
9日	観音霊苑草刈業務打合せ
13日	第1回 安全委員会
15日	第4回 新会員研修会・会報編集委員会
16日	安全パトロール
20日	安全パトロール
21日	安全パトロール
28日	安全パトロール
29日	会報編集委員会
8月 6日	近文清掃工場内草刈り見積現地立会
19日	第5回 新会員研修会
20日	かたくりの会(女性の会)
21日	近文清掃工場内草刈り見積提出
24日	道シ連 三役会議
26日	安全講習会(草刈り)

月	日	内 容
9月	7日	西神楽支所草刈り見積提出
	16日	第6回 新会員研修会
	17日	第3回理事会
	25日	北高等学校 放送コンクール取材
10月	2日	事務局全体会議
	8日	道シ連 理事会
	12日	かたくりの会 (女性の会)
	13日	全シ協 オンライン研修
	15日	事務職員個人面談
	16日	環境部依頼の神楽岡公園の現場確認
	20日	事務職員個人面談
	21日	第7回 新会員研修会
	27日	就業開拓推進・適正化検討委員会
11月	2日	事務局全体会議
	5日	中間監査
	13日	社会教育部へ生涯学習フェア申請
	17日	第2回 安全委員会
	18日	第8回 新会員研修会・除雪連絡会議
	27日	窪田職員辞令交付式
	30日	末山職員辞令交付式
12月	4日	第4回理事会
	8日	ドリコ挨拶廻り
	16日	第9回 新会員研修会
	17日	各支所、地区センター等へのカレンダー・情報誌配布
	29日	仕事納め
1月	5日	仕事始め
	8日	事務局三役会議(職員採用方法について)
	18日	北消防署 立入検査
	20日	第10回 新会員研修会
	26日	消防設備点検(後光トータル防災(株))
	26日	事務局三役会議(職員採用書類選考)
	29日	職員採用面談
2月	2日	事業所の車庫屋根の雪下ろし・安全確認
	5日	職員採用面談
	9日	安全委員会・第1回事故措置審議会, 職員採用面談
	16日	防火管理者講習(16日~17日)
	17日	第11回 新会員研修会
3月	1日	原職員辞令交付式、まなびピア(パネル展)イオン西店設置
	7日	まなびピア(パネル展)イオン西店撤収
	9日	第5回理事会
	10日	かたくりの会 (女性の会)
	17日	第12回 新会員研修会
	19日	第3回 安全委員会
	30日	平和通維持管理業務打合せ
	31日	平和通維持管理業務打合せ (放置自転車調査等)

4. 事業実績

(1) 会員登録状況

令和3年3月末日現在

会員数		会 員 年 令 別				
		60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
男	564	0	17	89	191	267
女	229	0	12	42	75	100
計	793	0	29	131	266	367
前年同期	830	0	41	152	269	368

(2) 事業別実態

発注先	内訳	受注件数	就業 延実人員	就業 延日人員	総 事 業 実 績			
					配 分 金	事 務 費	原材料費等	計
累 計	公 共	65	2,468	15,533	72,489,397	14,486,821	5,768,214	92,744,432
	民間事業所	1,023	3,635	12,828	51,670,051	6,114,217	1,401,329	59,185,597
	一般家庭	6,241	11,594	21,604	69,514,776	6,424,593	2,665,184	78,604,553
	独自事業	2	16	58	267,750	35,250	27,317	330,317
	計	7,331	17,713	50,023	193,941,974	27,060,881	9,862,044	230,864,899
前 年 同 期		6,949	17,321	52,493	199,106,102	24,871,222	10,147,492	234,124,816

(3) 職種別就業実績

職 群	内訳	会 員 の 年 令 別 ・ 希 望 職 種					事 業 実 績				
		60未満	60～64	65～69	70～74	75以上	計	受注件数	就業延実人員	就業延日人員	総 事 業 費
1	技 術 群	0	1	3	1	6	11	8	36	140	513,577
2	技 能 群	0	0	7	17	29	53	950	1,623	1,871	12,503,314
3	事 務 群	0	5	14	11	17	47	133	151	530	969,405
4	管 理 群	0	1	4	15	20	40	7	588	5,863	13,743,289
5	折衝外交群	0	1	4	4	4	13	0	0	0	0
6	一般作業群	0	12	71	158	218	459	5,996	14,307	37,141	190,995,054
7	サービス群	0	9	28	60	73	170	237	1,008	4,478	12,140,260
8	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合 計	0	29	131	266	367	793	7,331	17,713	50,023	230,864,899
	前 年 同 期	0	41	152	269	368	830	6,949	17,321	52,493	234,124,816

(4) 月別の状況

月別	月末現在 会員数	受注件数	就業 実人員	就業 延日人員	総合事業実績			
					配分金	材料費等	事務費	合計
4月	803	568	322	2,486	9,096,862	596,139	63,696	9,756,697
5月	806	779	66	3,417	16,408,902	724,190	1,405,896	18,538,988
6月	809	1,000	23	4,694	24,594,914	1,266,396	1,433,972	27,295,282
7月	813	960	58	5,684	27,827,693	1,476,455	1,794,326	31,098,474
8月	794	676	19	4,630	22,006,734	1,098,540	1,305,657	24,410,931
9月	788	691	10	4,756	21,943,060	1,093,370	1,825,964	24,862,394
10月	779	866	16	4,797	20,429,807	874,565	2,475,561	23,779,933
11月	767	546	14	3,339	11,828,530	700,961	842,703	13,372,194
12月	790	488	21	4,963	11,074,574	252,750	869,590	12,196,914
1月	793	320	13	3,962	9,864,189	241,014	1,719,987	11,825,190
2月	795	270	5	4,674	11,093,095	515,044	1,938,234	13,546,373
3月	793	167	9	2,621	7,773,614	1,022,620	11,385,295	20,181,529
累計	793	7,331	576	50,023	193,941,974	9,862,044	27,060,881	230,864,899